

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善 方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の主体的に学ぶ意欲を引き出し確かな学力を育みながら、新たな学力の育成や評価についても研究を進める。</p> <p>②2022年度生から実施される新指導要領と新校統合再編への移行期に向けてカリキュラムの研究・編成を進める。</p>	<p>①授業改善を継続して進めるとともに、ICT等の様々な自宅学習ツールを活用した主体的で新しい学習スタイルの運用とその評価について研究する。</p> <p>②厚木東スタンダードをふまえ、新校のコンセプトも意識しながらカリキュラムの最終案をとりまとめる。</p>	<p>①Google Classroomをはじめとする様々な自宅学習ツールの校内での活用事例を集め、その成果を評価する。</p> <p>②カリキュラム検討委員会を招集し、新校のコンセプトも盛り込みながら協議を進める。</p>	<p>①生徒は新しい時代の学習ツールをどのくらい活用できたか。各教科での具体的な取組と学習効果は検証できたか。</p> <p>②カリキュラム検討委員会を計画的に実施し、カリキュラムに新校のコンセプトを反映できたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①部活動や生徒会行事等における生徒主体の協働的、創造的な活動を通して豊かな人間性と望ましい社会性を育む。</p> <p>②個々の生徒に応じた組織的な支援体制を確立し、互いに認め合い高め合える安全安心な学校環境を整える。</p>	<p>①生徒が職員と協働しながら部活動や生徒会行事に主体的に取り組めるよう、生徒会本部役員や各委員等リーダーを中心とする生徒の活動を適切に支援する。</p> <p>②生徒の状況を学年で共有し、支援が必要な生徒について早期に把握し、SC面談やケース会議、外部機関との連携等、個々のニーズに合った支援を組織的に行っていく。</p>	<p>①生徒会本部役員を中心に各委員長、部長の会合を定期的実施し、生徒の多様な活動を定期的に振り返り、情報を共有する。行事では生徒が目標や計画を考え、職員と協働して取り組む。</p> <p>②欠席のめだつ生徒や気になる生徒について、学年会等で情報共有し、特に連続5日以上欠席生徒については早期に把握しSC活用やケース会議等教育相談体制のもと組織的に対応していく。</p>	<p>①部活動や生徒会行事等の取組状況を、生徒会が積極的に取りまとめ、全校生徒へ発信できたか。行事アンケートでは主体的な取組に対する肯定的な回答が増えたか。</p> <p>②欠席のめだつ生徒や気になる生徒について、学年会等で情報共有ができたか。支援が必要な生徒について組織的に対応したか。また、生徒のニーズに合った支援となっていたか。</p>					
3 進路指導・支援	<p>①3年間を通じた体系的なキャリア教育により、早期から将来を展望した自己理解、キャリア学習を深めさせる。</p>	<p>①体系的なキャリア教育を計画的に配置し、激変する社会と自己の将来を見据えて行動できるよう全学年の生徒の進路意識の向上を図る。</p>	<p>①キャリア教育実践プログラムを計画的に配置し、生徒が将来を見据えて主体的に行動できるようサポートする。</p>	<p>①生徒が自己理解と進路研究を深め、自己の進路実現に向けての具体的な行動をとり、将来に向けての目標を明確に定められたか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善 方策等		成果と課題	改善方策等
	②一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて、各種進路探究活動をきめ細やかに支援し、全生徒の第1志望達成を目指す。	②進路に向けての探究活動を支援し、自己にあった入試方法を選択させ、生徒の第1志望が達成できるようサポートする。	②教員も新たな入試方法や個々の学校などの特性について研究を深めながら、きめ細やかな進路相談、支援を行う。	②進路通信やガイダンス等を通じて適切な情報を提供することができたか。生徒が目標に向かい行動し、第1志望にそった進路実現を達成できたか。					
4 地域等との協働	①王子自治会や、厚木商業高校と協働して防災教育を推進し、防災体制の確立と改善に努める。  ②P&E厚木東コミュニティスクール等を活用して地域の求める学校像を把握し、学校創りや地域貢献活動等に活かす。	①厚木商業高校とともに、王子地区自治会と共働し、防災体制を確立する。地域の公民館との交流や連携を深め、生徒が地域に貢献する機会を設ける。  ②地域の公民館との交流や連携を深め、生徒が地域に貢献することで自己肯定感を高め、自分の生き方に結び付いた学びができる。	①生徒の防災委員を中心に王子地区防災訓練(避難所開設訓練)に積極的に参加し、避難所開設の体制を整える。  ②公民館を通じて生徒活動の情報発信を行う。また、自治会等の活動に協力する。	①地区防災訓練に積極的に参加できたか。避難所開設の体制の構築ができたか。生徒の防災意識が高まったか。  ②生徒活動の情報発信ができたか。自治会等の活動に協力し、自分の生き方に結び付いた学びができたか。					
5 学校管理 学校運営	①生徒が安全安心、また快適に過ごせるよう教育環境の整備を進める。また、新校再編に向けて、教室や諸設備の活用計画を進める。  ②時代の要請に応じた教育のICT環境の整備を推進し、業務の効率化を図る。	①施設・設備の老朽箇所、危険個所の状況を把握し、その改善に努め、安全・安心快適な教育環境を整える。新校準備委員会と連携し、施設設備の活用計画をたてる。  ②校内のICT環境を整備、充実させ、職員の協働作業による業務の効率化を図る。より質の高い教材を提供し、生徒の主体的な学習への意欲を伸長する。	①生徒の整美委員と共働し、施設・設備の老朽箇所、危険個所のデータベースを作成し、生徒の意見を取り入れながら最適な教育環境づくりを進める。新校準備委員会に参加し、具体の教室、施設等の活用を検討する。  ②職員間で情報の交換を容易にし、優れた教材や実践を共有する。ICTの活用を、授業と家庭学習を結びつける仕組みに役立て、生徒の学習に対するモチベーションを高める。	①データベースを作成し、施設の改善および教育環境の整備ができたか。新校再編に向け、施設設備活用計画ができたか。  ②全ての教員が安心してGoogle Classroomを活用できる環境が整備されたか。職員間の情報の共有、協働により、業務の効率化が図られたか。また、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を伸ばすことができたか。					